

授業概要

この講座では、小学校で行われる体づくり運動、器械運動、陸上運動、ボール運動、表現運動の実技を行い、授業の指導場面で師範することができる基礎的な技術を学ぶための指導を行う。また、指導計画案を作成し、実際に指導する活動を通して、実践的な指導力を身につけるための指導を行う。

授業計画

第1回	オリエンテーション ～授業の進め方について～
第2回	体づくり運動
第3回	器械運動①（マット運動）
第4回	器械運動②（鉄棒運動）
第5回	器械運動③（跳び箱運動）
第6回	陸上運動①（短距離走・リレー）
第7回	陸上運動②（ハードル走）
第8回	陸上運動③（走り幅跳び・走り高跳び）
第9回	ボール運動①（ゴール型）
第10回	ボール運動②（ネット型）
第11回	ボール運動③（ベースボール型）
第12回	表現運動①（フォークダンス）
第13回	表現運動②（リズムダンス）
第14回	模擬授業①
第15回	模擬授業②

到達目標

- ・体づくり運動の意義を理解し、発育段階に即した指導方法について理解を深める。
- ・器械体操、陸上運動、ボール運動、表現運動の基礎的な技術や技能を習得し、指導計画の作成につなげることができる。

履修上の注意

- ・必ずジャージなどの体操服に着替え、体育館シューズを用意すること。
- ・髪の毛の長い者は、まとめること。
- ・やむを得ない場合、20分以内の遅刻を認める場合がある。それ以降は、欠席として取り扱う。
- ・遅刻3回で欠席1回と同様の扱いをする。

予習・復習

- ・予習…シラバスを確認し、授業内容についてのイメージを持つ。
- ・復習…授業で学んだ内容を課題提出用シートにまとめる。

評価方法

- ・授業での取り組み（30%）
- ・模擬授業（30%）
- ・課題（40%）

テキスト

特に、指定しない。

授業概要

小学校体育の実技を通して、教材づくりと指導上のポイントを理解する授業である。また、学習したことを手掛かりとして教材研究をすることで理解の深化と統合を図るようにする。本授業は、身体活動の経験を通して知識理解を深めていく授業であり、実感しながら幼少期の子ども達に対する身体活動の組織化の手続きについて学んでいく。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	体づくり運動+ボール運動系（ターゲット型）
第3回	体づくり運動+ボール運動系（ゴール型）
第4回	体づくり運動+ボール運動系（ネット型）
第5回	体づくり運動+ボール運動系（ベースボール型）
第6回	ボール運動系（教材発表）
第7回	体づくり運動（教材発表）+陸上運動系（走）
第8回	体づくり運動（教材発表）+陸上運動系（走）
第9回	体づくり運動（教材発表）+陸上運動系（跳）
第10回	体づくり運動（教材発表）+陸上運動系（跳）
第11回	陸上運動系（教材発表）
第12回	体づくり運動（教材発表）+器械運動系（マット）
第13回	体づくり運動（教材発表）+器械運動系（跳び箱）
第14回	体づくり運動（教材発表）+器械運動系（跳び箱）
第15回	体づくり運動（教材発表）+器械運動系（教材発表）
第16回	レポートにより学習内容の理解度を評価する。

到達目標

小学校体育の典型教材としての実技を通して、教材づくりができる力を育成する。具体的には、授業後に以下の力を身につけていることが到達目標である。

- ② 学校の体育で必要な学習内容にかかわる知識を身につけている。
- ② 指導をする上での基本的な教授学的知識を身につけている。

履修上の注意

実技を行いながらの学習になります。運動するのに相応しい服装で参加をして下さい。

予習復習

学習したことをノートに整理し、まとめていく。

評価方法

授業へ取り組み及び、グループ毎の活動発表、内容理解（形式知及び暗黙知）を総合して評価する。

- ・実技パフォーマンス 30%（技能の高さではなく、参加の仕方の工夫）
- ・意欲・態度：20%
- ・発表：30%
- ・理解：30%（学習カードの記入等）

* 授業への参加が 2/3 以上のものを評価の対象とする。

テキスト

特に指定しない。